

# Cisco Response Solutions ( CRS ) の AppAdmin ページから RM JTAPI プロバイダーを作成できない

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## 概要

Cisco Customer Response Solutions ( CRS ) Appadmin のページから Resource Manager ( RM ) Java Telephony Application Programming Interface ( JTAPI ) プロバイダーの作成を試みると、その試みは次のエラー メッセージのいずれかで失敗します。

- LDAP RMJTAPI
- Jtapi

この問題は、Cisco CRS を Active Directory ( AD ) に統合するときに発生します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco CallManager
- Cisco CRS
- Active Directory

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CRS 4.x
- Cisco CallManager 3.3 以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 問題

次の状況では、Active Directory 統合の使用時に RM JTAPI プロバイダを追加できないという問題が発生します。

- CRS 4.x サーバで RM JTAPI プロバイダを作成する場合
- CRS 4.x 新規インストール システムで RM JTAPI プロバイダを設定する場合
- 復元プロセスで LDAP 移行ステップを実行するときに、CRS 3.x システムから CRS 4.0 システムに移行する場合

Cisco CallManager AD プラグインがセキュリティ制約付きでインストールされており、この制約により AD 管理ユーザにユーザの組織単位 ( OU ) への書き込み特権を付与できない場合、CRS は AD に JTAPI/RM JTAPI ユーザを作成できません。これにより、サブシステムの設定が失敗します。また、CRS 3.x から CRS 4.0 へのアップグレード時に、移行ウィザードが AD にこれらのユーザを作成できません。これが原因で、Backup and Restore System ( BARS ) からの復元操作が失敗します。

## 解決策

CRS を AD に統合する場合、この問題を解決するために、JTAPI プロバイダとして設定されているすべての Cisco CallManager サーバで次の手順を実行する必要があります。

1. C:\dcdsrvr\config を参照し、UMDirectoryConfiguration.ini ファイルをメモ帳で開きます。注：このファイルを Notepad ( メモ帳 ) で開く必要があります。それ以外のテキスト エディタでこのファイルを開くと、アプリケーションによってはファイルが破損することがあります。
2. UMDirectoryConfiguration.ini ファイルで UserDirAccesskey を見つけ、その値を True に変更します。
3. Notepad で [File] > [Save] を選択し、ファイルを保存して UMDirectoryConfiguration.ini ファイルを閉じます。
4. [Start] > [Run] を選択します。
5. regedit と入力し、[OK] をクリックします。
6. レジストリ内の <file://\HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\Cisco> \HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\Cisco Systems, Inc.\Directory Configuration を参照します。
7. 右側のペインで、DirAccess レジストリ キーをダブルクリックします。[false] レジストリ エントリを削除し、新しいレジストリ エントリとして [true] を入力します。
8. IIS Admin Service とその依存サービスを再起動するため、次の手順を実行します。[Start] > [Programs] > [Administrative Tools] > [Services] の順に選択します。[IIS Admin Service] を右クリックして、[Restart] を選択します。依存サービスの再起動を求めるダイアログボックス

が表示されます。これらのサービスは、設定に基づいて異なります。[Yes] をクリックし、依存サービスを再起動します。

## 関連情報

- [Cisco Customer Directory 設定プラグインのインストールと設定](#)
- [音声およびユニファイド コミュニケーションに関するサポート リソース](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)